

平成26年6月13日

理事長 殿
病院長 殿

公益社団法人 全日本病院協会
会長 西澤 寛俊
医療機関トップマネジメント研修事業
担当理事 徳田 禎久

「第9回 医療機関トップマネジメント研修コース」参加のご案内

日頃より、全日本病院協会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。
さて、当協会では、平成18年度より、会員病院の理事長・院長の方、あるいは将来の理事長・院長候補の方を対象にした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開講いたしております。

本研修コースは、当協会が経済産業省の委託事業において開発したトップマネジャー向けの研修用教材を使用し、主として戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指すものです。

本研修の大きな特徴は、テーマに関して全般的な講義を受けた後、参加者がグループワークで解決方法を考えるケーススタディ形式を行っていることにあります。

講師陣には、ケース作成にかかわり当協会の各委員会でも活動され、医療現場の実情を熟知されている方、経営についての専門家をお迎えいたしております。

第1回から第8回までに、全国各地から計295名のご参加をいただきましたが、医療界では数少ないグループワークによるケーススタディ形式の研修が大変好評でありました。また、各自が自分の考えをまとめる方法を学ぶと共に、他の参加者の考え方や経験を知ることにも可能となり、管理者としての経験の浅い方にも有意義な研修であったとのご感想をいただいております。

また、ケースの更新や新しいケースを追加しつつ、参加者の研修の評価も検討しながら、より効果的な質の高い研修会へと進化させております。

つきましては、第9回研修コースについて、別添パンフレットのとおりに企画いたしましたのでご案内申し上げます。是非ともパンフレットをご高覧いただき、ご参加を検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、参加申込は平成26年7月31日（木）までとなっております。

本コース開始日（第1単位）は平成26年9月6日（土）・7日（日）です。

※受講料金は（公社）全日本病院協会の会員・非会員とも同一です。

【問合せ先・申込先】

公益社団法人 全日本病院協会 事務局

〒101-8378 東京都千代田区猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

ホームページ <http://www.ajha.or.jp/>



受講のご案内

第9回

医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

公益社団法人 全日本病院協会

会長 西澤寛俊

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

さて、本年4月には診療報酬改定が行われ、消費税対応分を除くと実質マイナス改定となり、医療機関にとって非常に厳しい改定となりました。今回の改定における重点課題・視点は「社会保障・税の一体改革」に基づく内容であり、2025年を見据えての改革の一環と考えられます。また、本年4月には消費税が8%に引き上げられており、来年10月には10%に引き上げられる予定です。控除対象外消費税の問題を含め、医療機関を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況にあると言わざるを得ません。

さらに、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。

これらの諸問題に対処するためには、施設運営に際して医療実務（専門技術）と経営実務（管理技術）双方を兼ね備えたトップマネジャーの存在が不可欠ですが、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、研修用教材作成を行い、平成18年度より、これを利用した医療界では数少ないケーススタディによる研修会を開催致しております。

本研修では、施設運営の際のモデルとなるような民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指しグループワークを中心に行っております。現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

各病院からの積極的なご参加をお願い申し上げます。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第9回（平成26年度）

医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 平成26年9月～平成27年1月
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 300,000円（食事代・懇親会費含む）

受講定員 30名

会場 公益社団法人 全日本病院協会
〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F
TEL.03-5283-7441

申込締切 平成26年7月31日（木）

 公益社団法人 全日本病院協会

お問い合わせ先：公益社団法人 全日本病院協会 〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8 住友不動産猿楽町ビル7F TEL.03-5283-7441

 公益社団法人 全日本病院協会



Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。

第1単位 9月6日(土)13:00~21:00 7日(日)9:00~15:00

(第1日目)オリエンテーション、医療概論、経営学概論

●講師
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
 李 濟民 小樽商科大学大学院商学研究科 教授

■概要
 <オリエンテーション>
 ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。
 <医療概論>
 医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。
 <経営学概論>
 医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

第1単位 1日目	13:00~14:30	医療概論	講義
	14:40~16:10	ケーススタディの説明	説明
	16:10~19:00	経営学概論	講義
	19:10~	懇親会	

(第2日目)広報・ブランド管理、医療の質評価、DPCの活用

●講師
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
 <医療機関の広報戦略>
 医療機関に適応しうる広報戦略について講義。対象は対顧客用のブランド構築について事例を交えて説明。
 <医療の質評価、DPCの活用>
 急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。また、DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。

第1単位 2日目	9:00~11:35	広報・ブランド管理	講義 グループワーク 発表討議
	12:15~15:00	医療の質評価・DPCの活用	講義 グループワーク 発表討議

第2単位 10月11日(土)13:00~21:00 12日(日)9:00~15:00

(第1日目)財務管理、管理会計、BSC

●講師
 石井 孝宜 公認会計士
 伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
 佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授

■概要
 <財務管理、管理会計>
 財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にする。また、開示されている様々な病院開設主体及び病院の財務情報を確認することによりトップマネジメントとして認識すべき財務の視点を習得する。
 <BSCの解説>
 BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSC成功要因を考察する。
 ・BSCの成功事例の検討

■演習
 <経営指標実例の分析・評価>
 病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、生産性、財政状態について理解を深めるため実在する具体例や厚労省の病院経営指標を使用し、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように解説する。
 <BSC>
 BSCの実施方法の習得
 ・BSCの設計
 ・職員満足度調査の効果
 ・運用と進捗状況の把握
 ・顧客満足度調査の設計と実施

第2単位 1日目	13:00~16:10	財務管理・管理会計	講義 演習 質疑応答
	16:20~21:00	BSC	講義 グループワーク 発表討議

(第2日目)安全管理、リスク管理

●講師
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
 <安全管理、リスク管理>
 医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第2単位 2日目	9:00~11:35	安全管理	講義 グループワーク 発表討議
	12:15~15:00	リスク管理	講義 グループワーク 発表討議

第3単位 11月22日(土)13:00~21:00 23日(日)9:00~15:00

(第1日目)在宅医療、医療における総合的質経営(TQM)基礎

●講師
 長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授
 飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長

■概要
 <在宅医療>
 高齢化社会において、持続可能な医療提供体制を考えると、医療政策上、在宅医療は有力な選択肢となる。また、在宅医療の提供、あるいは、その支援は地域一般病院を目指す際の検討課題となる。病院経営における在宅医療の可能性、位置づけを検討し、課題を明らかにする。
 <医療における総合的質経営(基礎)>
 医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。
 理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習
 <医療における総合的質経営(基礎)>
 ・理念・方針の徹底
 ・トップの役割
 ・組織の活性化
 ・なぜ質か
 ・改善活動の組織化
 ・(品)質管理
 ・改善の必要性
 ・推進方法検討
 ・総合的質経営

第3単位 1日目	13:00~16:50	在宅医療	講義 グループワーク 発表討議
	16:55~21:00	TQM基礎	講義 グループワーク 発表討議

(第2日目)医療における総合的質経営(TQM)応用

●講師
 飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
 柳川 達生 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 副院長

■概要
 <医療における総合的質経営(応用)>
 医療への総合的質経営(TQM)の導入事例(ケース・スタディ)GWと発表/質疑

第3単位 2日目	9:00~15:00	TQM応用	講義 グループワーク 発表討議
-------------	------------	-------	-----------------------

第4単位 1月10日(土)13:00~21:00 11日(日)9:00~15:00

(第1日目)慢性期包括評価、医療連携

●講師
 池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要
 <慢性期包括評価>
 包括評価の導入の背景、分類基準の開発、療養病床としての対応について系統的に解説する。
 <医療連携>
 病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。

■演習
 <慢性期包括評価>
 ・包括評価導入に伴う区分構成の変化、モニター、人員配置、収支の変化
 ・病床転換や連携の新しいあり方
 <医療連携>
 ・自院における連携を踏まえて、ケースにおける連携あり方を検討
 ・連携を進めるうえでのトップの役割

第4単位 1日目	13:00~16:45	慢性期包括評価	講義 グループワーク 発表討議
	16:50~21:00	医療連携	講義 グループワーク 発表討議

(第2日目)人事管理、管理会計

●講師
 池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要
 <人事管理>
 人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。
 <管理会計>
 管理会計の基本的な考え方を解説した後、病院において診療科別管理会計を導入する際の課題について検討する。

■演習
 <人事管理>
 ・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。
 <管理会計>
 ・管理会計の結果がどのように実際の管理に反映できるかを検討する。

第4単位 2日目	9:00~15:00	人事管理・管理会計	講義 グループワーク 発表討議
-------------	------------	-----------	-----------------------

第8回(平成25年度)

医療機関トップマネジメント研修コース

受講者の声



医療法人愛の会
光風園病院
経営企画室 室長
木下 麻子

病院経営を一から学び、経営者の補佐が的確に行える知識を身につけるためこのコースに参加しました。しかし私は医師でもなく自院での経験も短いため、もっと経験を積まないと参加する意味がないのではないかと不安もありました。実際にやはり知識や経験の乏しさを思い知らされることも多くありましたが、講義では病院経営に最も重要な項目を体系的に学べ、ケースやグループワークでそれらをより実践的に理解することができ、大変勉強になりました。またグループの先生方との討論を通じ、経営者としての視点や心構えなどを体感できたことも大きな収穫です。確かにより経験を積んだ後に受講していればまた違うレベルでの成果があったでしょうが、今後経営に関わっていく者として、まず最初に基礎をしっかりと固めることができとても有意義な研修でした。またこのコースを通して全国の先生方と交流できたことも大変貴重な経験でした。どうもありがとうございました。



医療法人社団東山会
調布東山病院
経営企画部 部長
福田 順三

昨年7月に民間企業から転職し、9月からこの研修コースを受講させて頂きました。病院のことがよくわからない中で、毎回、自分の未熟さを痛感させられました。ただ「先頭を走っている病院がどのくらい先にいるのかが分かったこと」「研修メンバーから直接、人事管理上の悩みや医療の特殊性について聴けたこと」により、当院での自分のミッションが鮮明になりました。私にとっては、このことこそが研修で得られた最も大きなメリットだったと思います。現在、研修で教えて頂いたことを少しずつ、当院仕様にアレンジして導入しています。学んだ事をひとつひとつ実践し、10年後には「全国屈指の中小規模病院グループ」に成長させたいと考えています。



医療生協
さいたま生活協同組合
埼玉協同病院
院長
増田 剛

就任から丸一年が経過し院長業の奥深さと自身の勉強不足や構えの甘さに何となく鬱々としていた頃、事務長に勧められたのがこの研修会でした。土日が計4回、土曜は夕食挟んで21時まで、日曜も15時までのハードスケジュール、そんな辛い「修行」でしたが、これが何とも満足度の高い内容なものでした。国内有数の講師陣の「授業」は期待に違わぬ高品質で、財務や管理会計、質管理、医療安全、組織論など、紹介された参考図書を買って揃え院長業の「武器」を手に入れることも出来ました。最大の収穫は「学友」達との出会いです。専門医療に没頭している時に親の事業を引き継ぐ為に「帝王学」を学ぶことを余儀なくされた若手経営者、住民の期待を背負い財政難と医師不足に苦しみながら地域医療を守り続ける自治体病院幹部など、院長としての自身の姿勢を正される思いを何度も感じた8日間でした。関係された全ての皆様に感謝致します。



医療法人社団直和会
平成立石病院
副院長 / 泌尿器科部長
大澤 秀一

副院長として3年目を迎えた今年、理事長より『病院経営・管理について基礎からしっかり勉強してきなさい』との命を受け、当研修に参加させて頂きました。これまで私どもの法人での勉強会で学んできた事と重なる分野もありましたが、実践に即した各分野のエキスパートの先生方の講義やグループワークでの研修は新鮮なものでありました。また、初めてお会いする全国の病院トップの方々とのお話は非常に興味深く、各病院ともいろいろな悩みや問題を抱えているものだなあと共感する部分と、ある部分においては当院の良さを再確認する事が出来、多くの事を学ぶ事が出来ました。本研修で学んださまざまな事を今後の病院経営や病院管理に生かしていき、激動の医療界において、その変化に柔軟に対応して行きたいと考えております、有り難うございました。